

イベント情報カレンダー

8月

※てづくりおもちゃや木工製作ワークショップを定期的開催しています。
8・9月のてづくりおもちゃメニュー例(一部材料費有料)



9月

●09.11(火) - 12(水)
特別休館日

10月

●10.02(火) - 03(水)
第5期おもちゃ学芸員養成講座
●10月中旬予定
青空おもちゃまつり(仮)

※日程・プログラムは変更になる場合がございます。詳しくはお問合せください。

TOY MUSEUM GROUP

日本全国各地の豊かな自然とその土地に伝わる文化を「おもちゃ」や「遊び」を通して、受け継ぎ、育む空間である「おもちゃ美術館」が全国に広がっています。
鳥海山 木のおもちゃ美術館は全国で4館目としてオープンしました。今後も全国で設立が検討されています。

東京おもちゃ美術館
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20 四谷ひろば内
<http://goodtoy.org/ttm/>

やんばる森のおもちゃ美術館
〒905-1411 沖縄県国頭村字辺土名1094-1
<http://www.kunigami-forest-park.org/>

長門おもちゃ美術館
〒759-4106 山口県長門市仙崎4297-1
<https://nagato-toymuseum.com/>

「一口館長」募集のご案内

館内にお名前が残ります

おもちゃと遊びはもちろん、由利本荘市の魅力を伝え、また多世代交流の架け橋となる活動を応援・支援し、「一口館長」となってもらえる方を募集いたします。



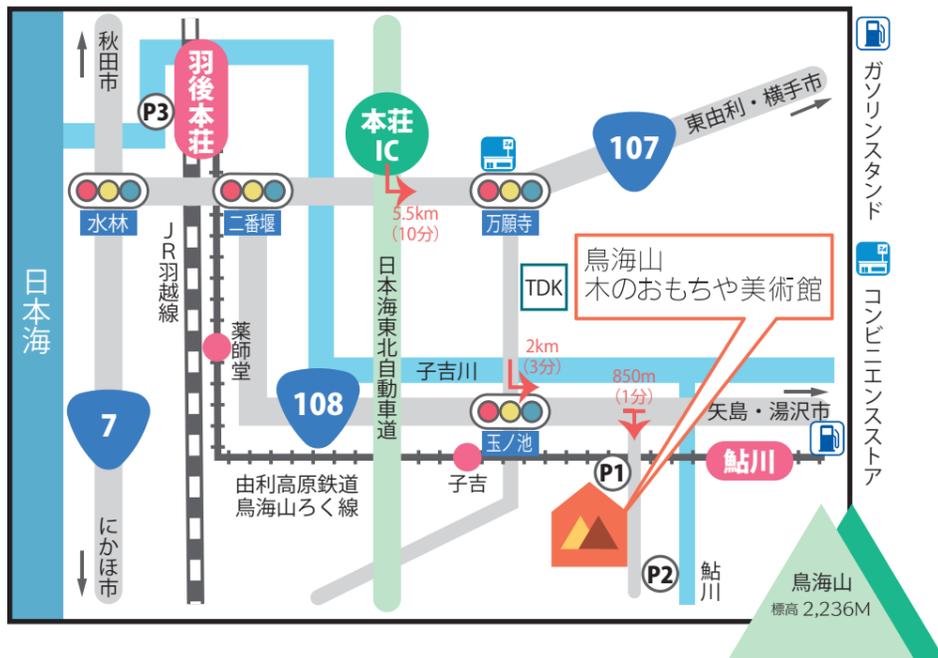
一口館長のもとには、鳥海山をモチーフにした積み木が届き、館内にはお名前入りのフレームが飾られます。

そのほか金額に応じた返礼品がございます。



由利本荘市産 木のおもちゃのイメージ

詳しくはホームページで!



鳥海山 木のおもちゃ美術館

〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1 旧鮎川小学校

URL <http://chokaisan-wtm.jp>

鳥海山木のおもちゃ美術館



発行: 特定非営利活動法人 由利本荘木育推進協会
〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1
Tel 0184-74-9070 Fax 0184-74-9079
www.yurihonjo-mokuiku.jp info@yurihonjo-mokuiku.jp

発行日: 2018年7月25日

鳥海山 木のおもちゃ美術館
CHOKAISAN WOODEN TOY MUSEUM

ゆりほんじょう木育通信

2018年
夏号
Vol.04



TOPICS

鳥海山 木のおもちゃ美術館

2018年7月1日 グランドオープン!

2018年7月1日9:00、前日までの梅雨空から一転、気持ちよく晴れた空の下、鳥海山木のおもちゃ美術館がグランドオープンしました。初日は1000人を超えるお客様にご来館いただき、大盛況でした。

オープンに先立ち、6月17日(日)には地元鮎川地区の皆さま、ボランティアの皆さま、市職員の皆さまにお集まりいただき、館内一斉清掃や周辺の草刈りを行うなど、オープンに向けて多くの皆さまにご尽力いただきました。また、オープニングセレモニーでは由利保育園の子どもたちが風船を飛ばし、元気に開館を盛り上げてくれました。

まだまだスタートしたばかりですが、地域の皆さまに支えていただきながら、初めて鮎川を訪れるお客様に「また来たい」と思っただけのよう、心を込めてお迎えしていきたいと思っております。



6月17日の一斉清掃には鮎川地区の皆さまにもご協力いただきました

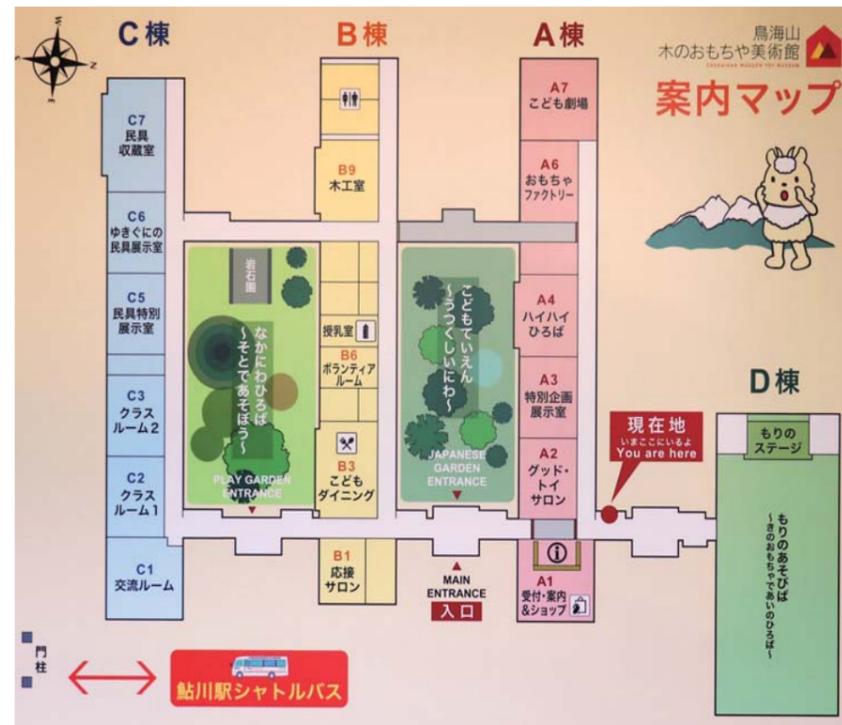


由利保育園の子どもたちによるオープニングセレモニー

当NPO法人は5月25日(金)に第1回通常総会を開催。5月26日(土)27日(日)には第4期おもちゃ学芸員養成講座を開催するなど、慌ただしく開館への準備を進めてきました。6月からは由利図書館内の仮事務所から鮎川小学校内の事務所に移り、本格的に業務を開始しております。

また、館内で運営する飲食施設「キッチンカフェkino」では、地元産米を羽釜で炊いて握ったおにぎりや、ゆり根うどん、コーヒー、アップルパイなどが好評です。お食事だけのご利用でもお気軽にお立ち寄りください。

館内は大きく2つのエリア、おもちゃ美術館の「有料ゾーン」と、カフェや民具展示室がある「無料ゾーン」に分かれています。かつての体育館（講堂）はメイン施設「もりのあそびば」に。図書室は「受付＆トイショップ」に。職員室は「キッチンカフェ kino」に。国登録有形文化財としての学校の雰囲気を残しながら、新しい施設に生まれ変わりました。



館内案内図



受付＆トイショップ tocca



キッチンカフェ kino

PickUp!

もりの中央にそびえる「ちょうかいタワー」

もりのあそびば（体育館）の中央には高さ約5メートルの「ちょうかいタワー」がそびえます。階段とすべり台が二重らせん構造になっており、「さざえ堂」などにみられる日本古来の建築様式で作られています。柱、壁、床はすべて秋田杉で、やわらかく優しい風合いです。また、すべり台の出口のどんぐりプールには様々な樹種の地元産材で作られたどんぐりが約5000個入っています。



ちょうかいタワー



すべり台とどんぐりプールは大人気

鳥海山木のおもちゃ美術館の運営を支える大事な要素の一つが「おもちゃ学芸員制度」です。現在、103名がボランティアとして登録し、シフト制で活動しています。赤いエプロンをしたおもちゃ学芸員は「遊びの案内人」として、おもちゃと人、人と人をつなぐ架け橋のような存在です。

ただ置いてあるだけでは置物になってしまうようなおもちゃも、遊び方を伝え、時には一緒に遊ぶことで、子どもにとっても見守る大人にとっても新たな発見や気づきにつながります。同じおもちゃでも遊び方は様々。否定せず、見守り、引き出すことが子どもの豊かな発想力と想像力を育みます。

館内にはグッドトイに認定された安心して遊べる木のおもちゃを多数取り揃えています。まだまだ勉強中のおもちゃ学芸員ですが、どんどん質問して一緒に遊んでください。木に触れて、考えて、気づいて、学んで、という子育ての一つの形を体現できるよう、学芸員・スタッフ一同、日々奮闘しています。

おもちゃ美術館は展示品をただ見るだけの美術館ではありません。子どもたちの自由な発想が見守る大人の感性を刺激し、ともに学んで笑顔になる。そんな美術館を目指しています。



おもちゃ学芸員大集合の決起集会。10月には第5期の講習会を開催します。

地域の方々に愛され、地域の方々とともに

猪股 健（鳥海山木のおもちゃ美術館 館長）

全国で4番目、東北では初めての開館となった鳥海山木のおもちゃ美術館。館長として施設運営を託されたのは元保育園長であり、おもちゃ学芸員1期生でもある猪股健さんです。

Q. 猪股さん自身、おもちゃ学芸員の1期生とのことですが、受講の同期は？

猪股健さん(以下、猪股) 現役を退き、これからは様々なボランティアに参加してみようかと…。特に、保育業務を経験したなかで子どもたちとのふれあいから、人として今まで忘れかけていたことの多くを学び、できればまた子どもたちと関われる活動をしたと考えていました。そんな折、市が取り組もうとしているおもちゃ美術館構想を耳にし、さっそく応募、おかげさまで学芸員第1号になりました。

Q. おもちゃ美術館は地域にとってどのような存在になっていくのでしょうか。

猪股 おもちゃ美術館には、市内外はもとより全国、ブームに乗って外国からのお客さまもたくさん訪れてほしいと思います。そのような中で、私たちスタッフとおもちゃ学芸員は「えがお」という最高のおもてなしでお迎えいたします。市のランドマーク的存在になり、地域の皆様にとっても誇りに思える施設になると思います。地域の方々に愛され、地

域の方々とともに育んでいく施設になるよう心がけていきます。

Q. オープン以来、多くの反響があると思います。今後の抱負を教えてください。

猪股 遠くは長崎県、北海道からも起こしいたなど、予想を超える来館者があります。テレビ局や情報誌などの取材も多く、その注目度はハンパではありません。様々なご意見に加えて適切なアドバイスをいただくこともあり、とてもありがたいことです。今後はイベント開催も含め、鳥海山木のおもちゃ美術館としてのオリジナリティを発揮していければと考えています。



猪股 健
鳥海山木のおもちゃ美術館 館長
1951年生まれ
由利本荘市在住
好きなこと：スポーツ観戦、音楽鑑賞